

医療安全フォーラム

「インシデント影響度分類の標準化に向けて」

ループバック評価を用いた
安全の質管理マニュアル評価事例

大阪物療大学 保健医療学部

診療放射線技師 山口 功

この発表の内容に関する利益相反事項は、

☒ ありません

公益社団法人

日本放射線技術学会（JSRT）

第47回秋季学術大会

はじめに

平成 19 年 5 月

放射線業務の安全の質管理マニュアル (Version 1)

放射線関連 3 団体

- ・社団法人日本放射線技師会 (当時)
- ・社団法人日本放射線技術学会 (当時)
- ・社団法人日本画像医療システム工業会 (当時)

放射線業務の質の向上と医療安全に寄与する

チェックシートの内容が施設の安全管理体制を確認するための項目が多く、会員個人に利用されることが少なかった

安全の質管理マニュアルの改訂

医療安全の質の向上：自己チェックが重要

放射線診療の安全の質管理マニュアル Ver.2.1

平成30年 4 月 1 日

公益社団法人 日本診療放射線技師会

公益社団法人 日本放射線技術学会

一般社団法人 日本画像医療システム工業会

医療安全確保のためのチェックリスト

- ・【基礎チェック項目】：モダリティ共通

15 項目（放射線治療のみ 10 項目）

- ① 基本安全行動（1 点）
- ② 実践行動（1 点）
- ③ 検証・評価（2 点）

- ・【専門チェック項目】：各モダリティ

10 項目（放射線治療のみ 30 項目）

- ・【想定される事故と事例】、【その対策】

オーディエンス「IMAKIKU」①

1.「安全の質管理マニュアル」と「医療安全チェックシート」を知っていますか？

- ① 両方知っている
- ② マニュアルは知っている
- ③ チェックシートは知っている
- ④ 耳にしたことはある
- ⑤ 全く知らない

オーディエンス「IMAKIKU」①

2. 「知っている」方で、使用したことがありますか？

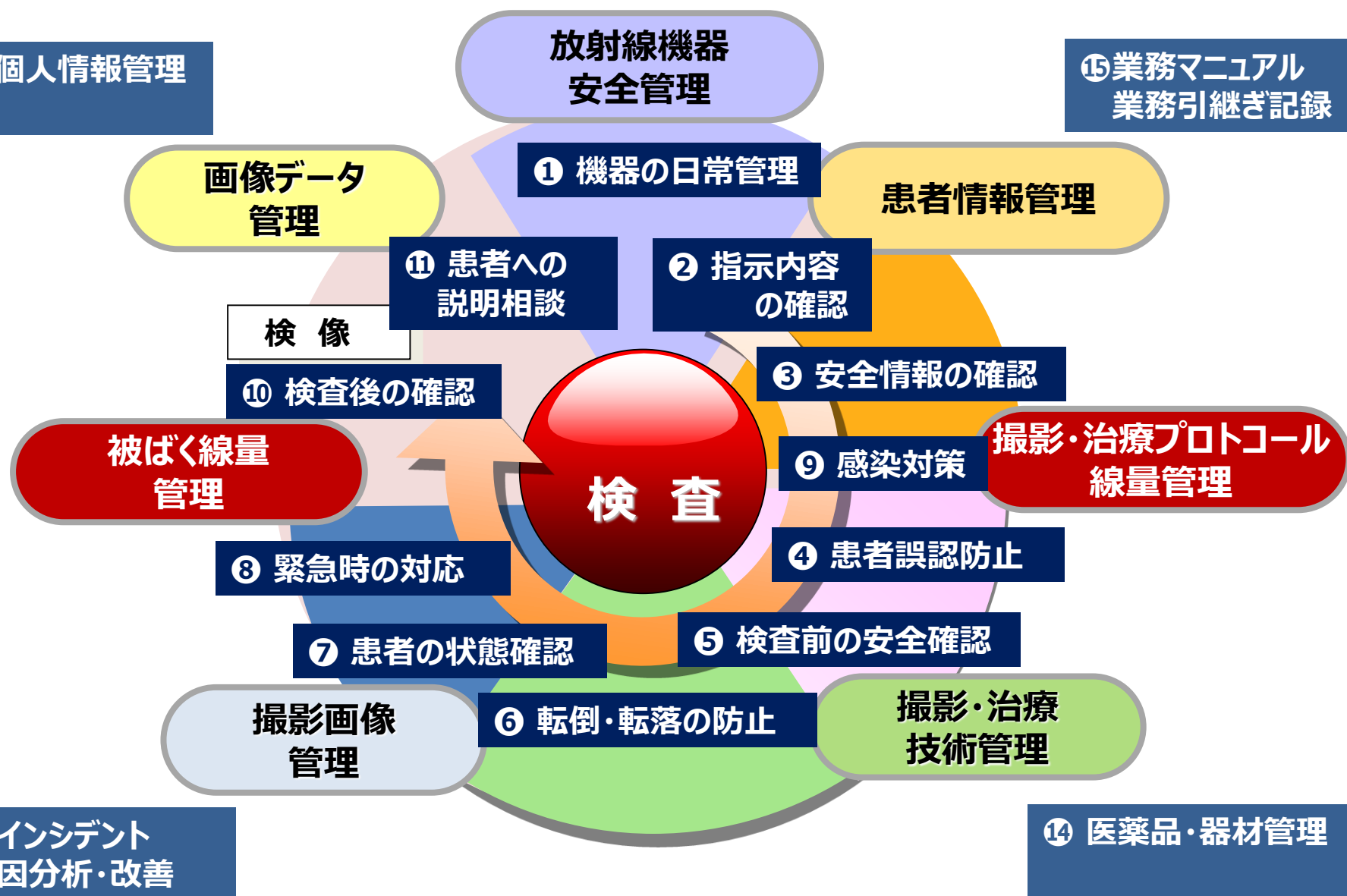
- ① 使用した
- ② 一部使用した
- ③ 全く使用したことがない

安全の質管理マニュアル「基礎チェック項目」

チェック項目

- ①検査・治療機器の始業・終業点検を行っているか。
- ②検査・治療前に医師の指示内容を確認しているか。
- ③検査・治療に重要な患者の安全情報を事前に確認しているか。
- ④患者誤認防止の取り組みを確実に実施しているか。
- ⑤検査前に部位・方向・体位・回数、妊娠等の有無を確認し、検査の流れを説明しているか。
- ⑥転倒・転落の防止対策を確実に実施しているか。
- ⑦検査・治療前、中、後で患者状態を常に監視しているか。
- ⑧患者の容態急変時の緊急対応方法を理解しているか。
- ⑨検査・治療の感染予防対策を実践しているか。
- ⑩撮影・治療終了後、依頼内容と結果の最終確認を行なっているか。
- ⑪患者から検査や治療について質問(被ばく線量も含む)された際に答えられているか。
- ⑫放射線部門の職員間でインシデント原因分析・改善等の取り組みを行っているか。
- ⑬患者個人情報の管理体制のもとで、取り扱いを適切に行っているか。
- ⑭医薬品や器材などの管理体制を理解しているか。
- ⑮各検査・治療の業務および引き継ぎがスムーズに行われているか。

放射線診療における「基礎チェック項目」



オーディエンス②

《機器の日常管理》⇒【治療（１）】

❶ 検査・治療機器の始業・終業点検を行っているか。

☐ 各機器の始業・終業点検計画表に沿って実施している ① （１点）

☐ 始業・終業点検の結果を定期的に管理者に報告している ② （１点）

☐ 始業・終業点検によって異常を認知した際の対応ができる ③ （２点）

合計点

4点

《指示内容確認》⇒【治療（２）】

❷ 検査・治療前に医師の指示内容を確認しているか。

☐ 検査・治療前に医師の指示内容を確認している （１点）

☐ 指示内容に疑義がある場合は適宜、医師に問い合わせしている （１点）

☐ 指示内容に関する検査目的、臨床経過を理解している （２点）

合計点

4点

個人の能力を評価する方法

1) 従来型テスト：一定の理解や能力の活用

- ・学習課題の理解度を確認できる有効な手段

2) パフォーマンス評価：出来栄え、できたか否か

- ・従来型テストでは容易に理解することができない実践的な能力をより具体的に把握することができる

パフォーマンス (*performance*) 評価

- ☑ あらかじめ可視化されたパフォーマンス課題を基準にして行う評価方法

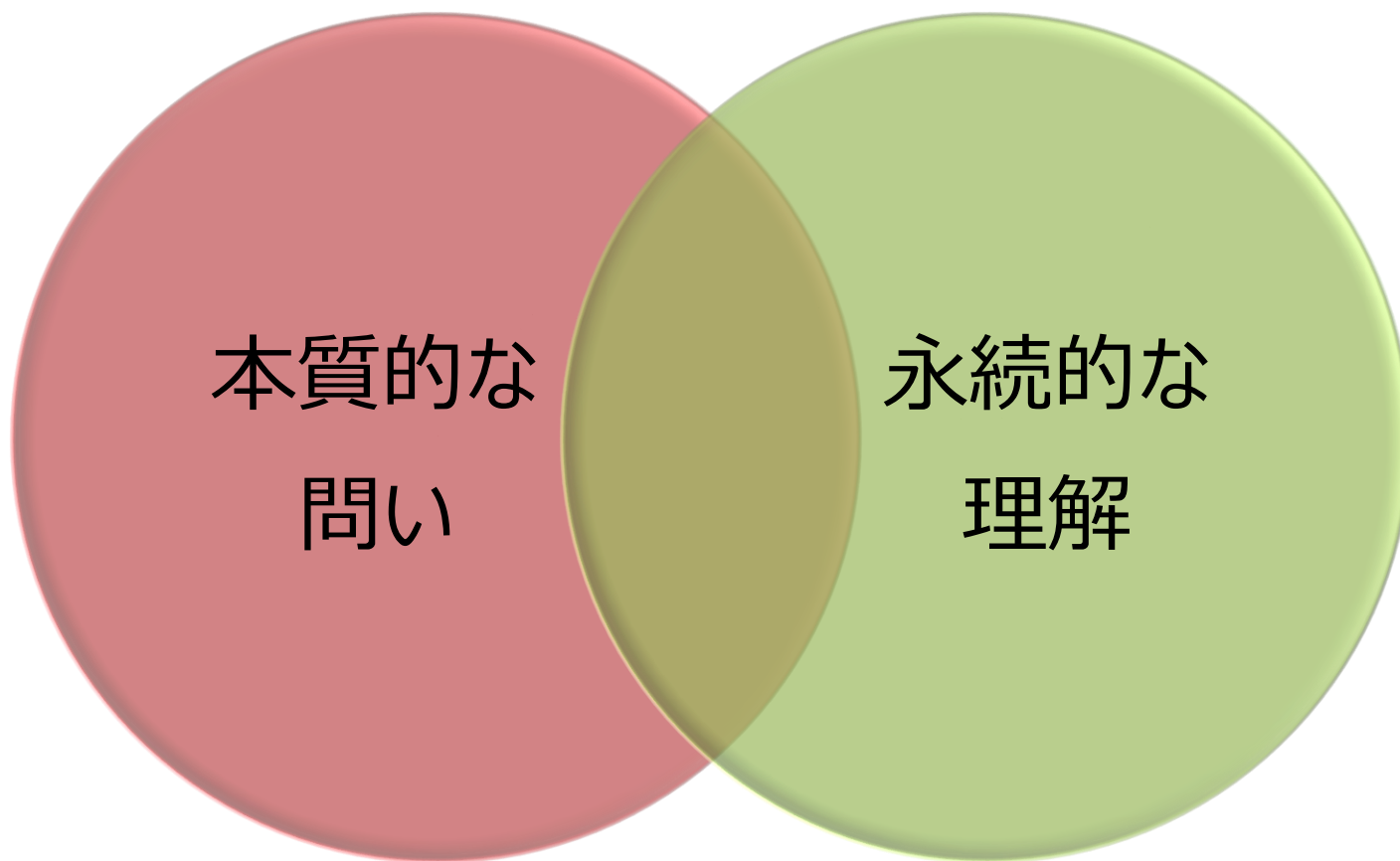
パフォーマンス評価は「活用」を評価する

「ある範囲」における理解度をテストという形でのみ評価するのではなく、理解が実践的に活用できること

医療安全教育（学習）の目的は？

個人が医療安全活動の必要性を**理解**し、
自己評価を通して医療安全**行動の質の向上**を
図ること

パフォーマンス評価の基本概念



適切な医療安全行動

ルーブリック（Rubric）

- ・「**学習の達成度**」を測るための評価方法の一種
- ・学習到達度を表す**評価基準**を**観点と尺度**からなる表として示したもの
- ・主に、**パフォーマンス課題**を**評価**するために使用する
- ・テスト形式での方法では評価が難しい「**観点**」を適切に評価することができる。
- ・評価する対象や内容に合わせて、**評価基準と評価の項目数を調整**することができる

医療安全行動の質を自己評価することが可能

ルーブリック（Rubric）表の概要

①検査・治療機器の始業・終業点検を行っているか？

	A：理想的	B：ふつう	C：努力が必要	NG
各機器の始業・終業点検計画表に沿って実施している 1点	各機器の始業・終業点検計画表に沿って実施し、不備がある場合に修正できている	各機器の始業・終業点検計画表に沿って実施できている	始業・終業点検計画表に沿って実施できていない	始業・終業点検ができていない
始業・終業点検の結果を管理者に定期的に報告している 1点	報告内容から必要に応じて、管理者とともに点検計画を修正や作成することができている	始業・終業点検結果を管理者に定期的に報告している	始業・終業点検の結果を管理者に定期的に報告できていない	始業・終業点検の報告ができていない
始業・終業点検によって異常を認知した際の対応ができている 2点	始業・終業点検によって異常を認知した際に直ぐに連絡対応して、復旧させることができている	始業・終業点検によって異常を認知した際の対応ができている	始業・終業点検によって異常を認知した際の対応ができていない	始業・終業点検の際の異常に気がつかない

観点
評価項目

（評価対象を細分化したもの）

評価基準

尺度（達成レベルを段階的に表したもの）

ルーブリック（Rubric）のメリット

非評価者、評価者ともに、達成すべきレベル（水準）が明確になり、受講生の現在のレベルや改善点が分かりやすくなる。

- ①迅速なフィードバック
- ②詳細で分かりやすいフィードバック
- ③評価の公平性（評価の見える化）
- ④過去のルーブリックで成長を把握
- ⑤コミュニケーションツールとしての利用
- ⑥批評的思考力のトレーニング
- ⑦学習者の優れた個性を発見

オーディエンス③

《機器の日常管理》⇒【治療（１）】

❶ 検査・治療機器の始業・終業点検を行っているか。

□各機器の始業・終業点検計画表に沿って実施している ① （１点）

□始業・終業点検の結果を定期的に管理者に報告している ② （１点）

□始業・終業点検によって異常を認知した際の対応ができる ③ （２点）

合計点

4点

《指示内容確認》⇒【治療（２）】

❷ 検査・治療前に医師の指示内容を確認しているか。

□検査・治療前に医師の指示内容を確認している （１点）

□指示内容に疑義がある場合は適宜、医師に問い合わせしている （１点）

□指示内容に関する検査目的、臨床経過を理解している （２点）

合計点

4点

①検査・治療機器の始業・終業点検を行っているか？

	A：理想的	B：ふつう	C：努力が必要	NG
各機器の始業・終業点検計画表に沿って実施している 1点	各機器の始業・終業点検計画表に沿って実施し、不備がある場合に修正できている	各機器の始業・終業点検計画表に沿って実施できている	始業・終業点検計画表に沿って実施できていない	始業・終業点検ができていない
始業・終業点検の結果を管理者に定期的に報告している 1点	報告内容から必要に応じて、管理者とともに点検計画を修正や作成することができる	始業・終業点検結果を管理者に定期的に報告している	始業・終業点検の結果を管理者に定期的に報告できていない	始業・終業点検の報告ができていない
始業・終業点検によって異常を認知した際の対応ができています 2点	始業・終業点検によって異常を認知した際に直ぐに連絡対応して、復旧させることができる	始業・終業点検によって異常を認知した際の対応ができています	始業・終業点検によって異常を認知した際の対応ができていない	始業・終業点検の際の異常に気がつかない

②検査・治療前に医師の指示内容を確認しているか？

	A : 理想的	B : ふつう	C : 努力が必要	NG
検査・治療前に 医師の指示内容 を確認している 1点	検査・治療前に 医師の指示内容 を確認した上で、 内容を完全に把 握できている	検査・治療前に 医師の指示内容 を確認している	医師の指示内容 の確認を、時々 忘れる	医師の指示内容 を確認していない
指示内容に疑義 がある場合は適宜、 医師に問い合わせ している 1点	指示内容に疑義 がある場合に医 師からの意見を 求められた際には、 必要に応じて説 明や提案ができて いる	指示内容に疑義 がある場合は適 宜、医師に問い 合わせしている	指示内容に疑義 がある場合、自己 判断で問い合わ せしないことがある	指示内容に疑義 があってもわかって いない
指示内容に関する 検査目的、臨床 経過を理解してい る 2点	事前に診療録や 過去画像の閲覧 で経過を把握し て検査に反映さ せることができて いる	検査目的や臨床 経過を理解して いる	検査目的や臨床 経過を十分に理 解できない	検査目的や臨床 経過を確認をして いない

オーディエンス「IMAKIKU」②

3.ループリック使用後の「基礎チェック項目①、②」の合計は何点でしたか？

① 8 点（満点）

② 5～7 点

③ 4 点以下

オーディエンス「IMAKIKU」③

4.ループリック使用前の「基礎チェック項目①、②」の合計と
ループリック使用後の合計は何点の違いがありましたか？

(得点差 = 使用前 - 使用後)

① +2 点以上 (過大評価)

② ±1 点以下

③ -2 点以下 (過小評価)

ループバック評価を用いた
安全の質管理マニュアルの評価
(事例報告)

方 法

対 象：医療安全委員会の本調査に同意した
医療機関に勤務する診療放射線技師 70 名

経験年数：0 年～37 年

0～ 2 年（新人）：25 名

2～10 年（中堅）：34 名

10 年～（熟練）：11 名

評価項目：安全の質管理マニュアル「基礎チェック15項目」

調 査：2019年 5 月～ 9 月

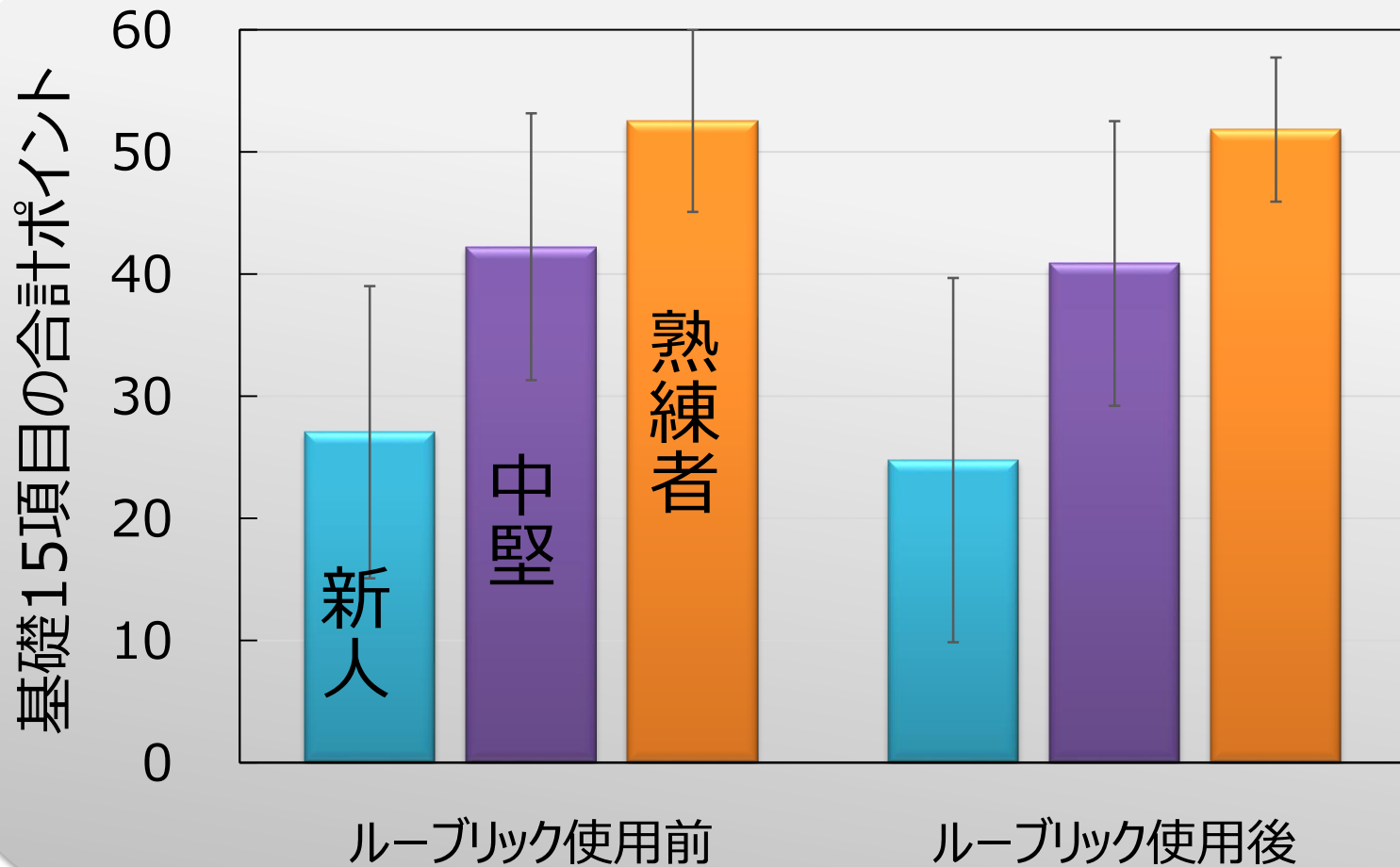
① 5 月初旬：ループバック表使用前の評価

② 5 月後半：ループバック表使用後の評価

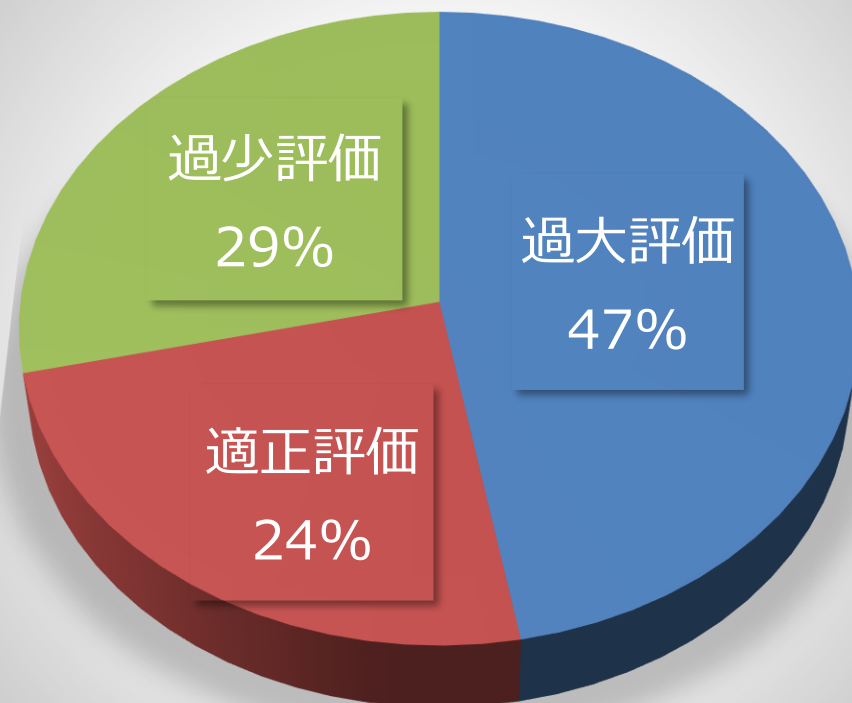
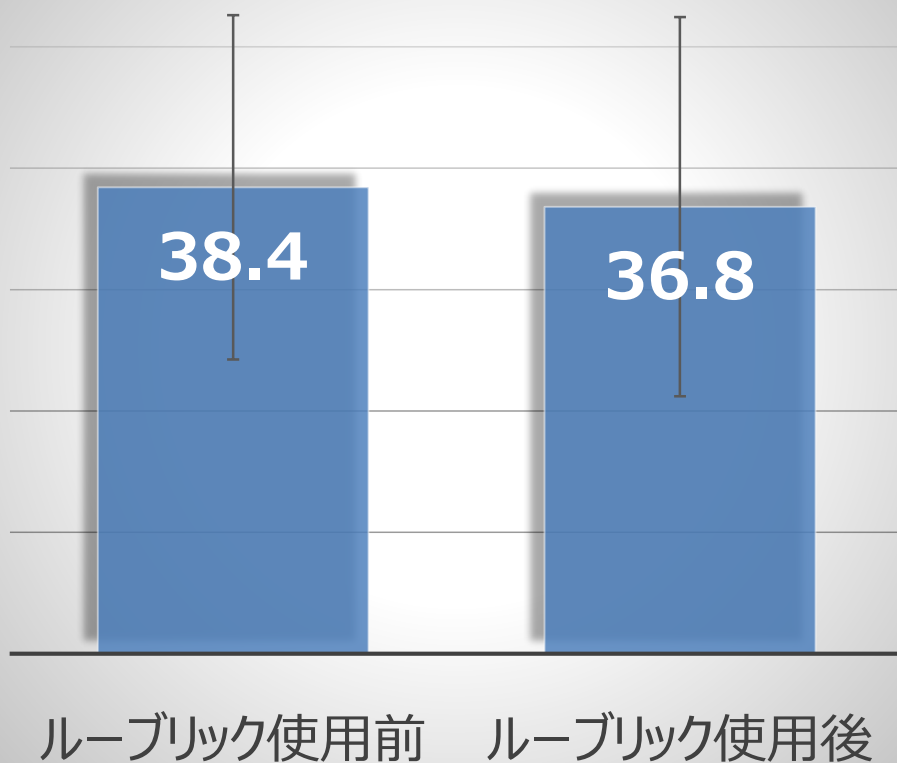
検討事項：ループバック使用による評価得点の変化

結 果

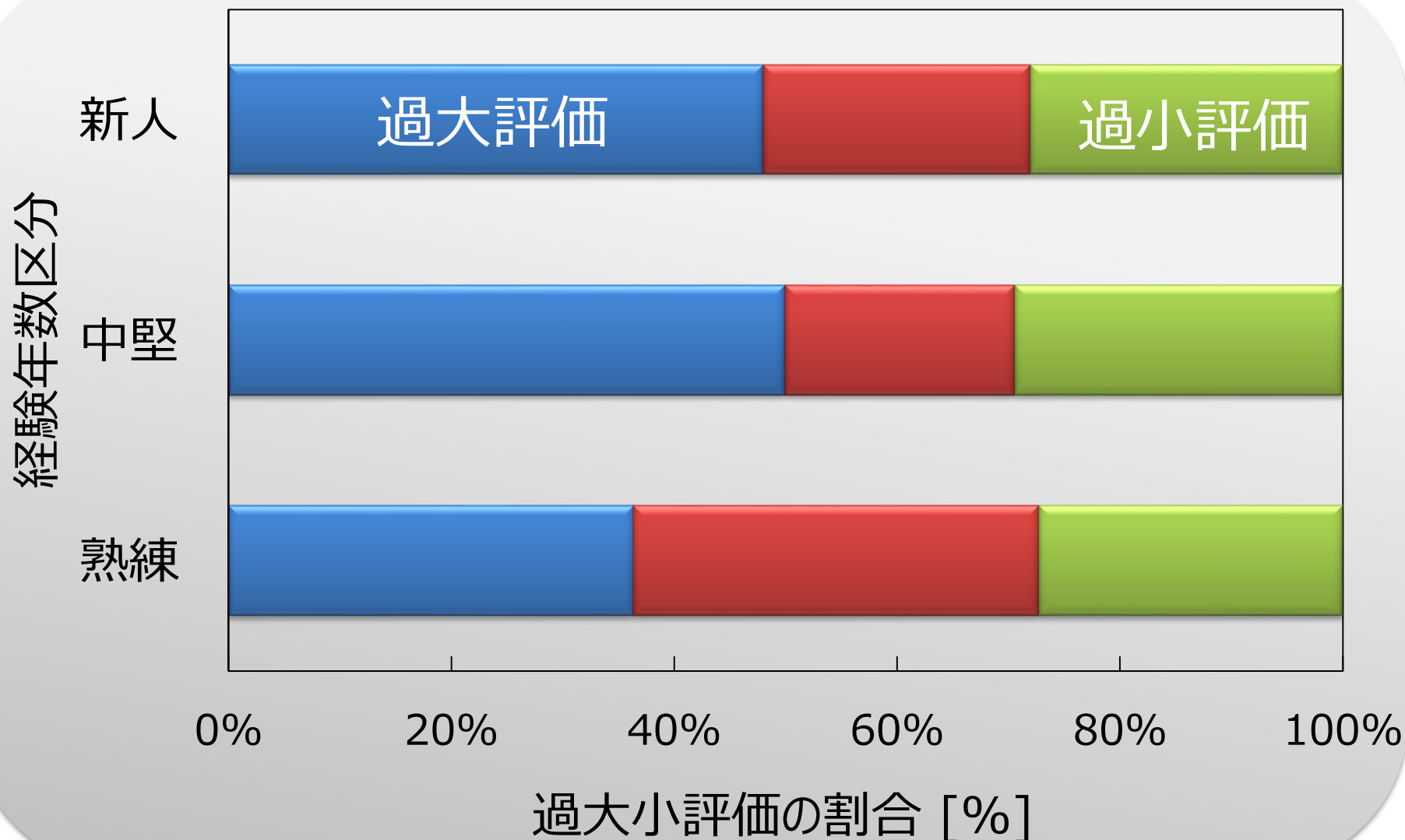
- ・経験年数とともにポイントは上昇した。



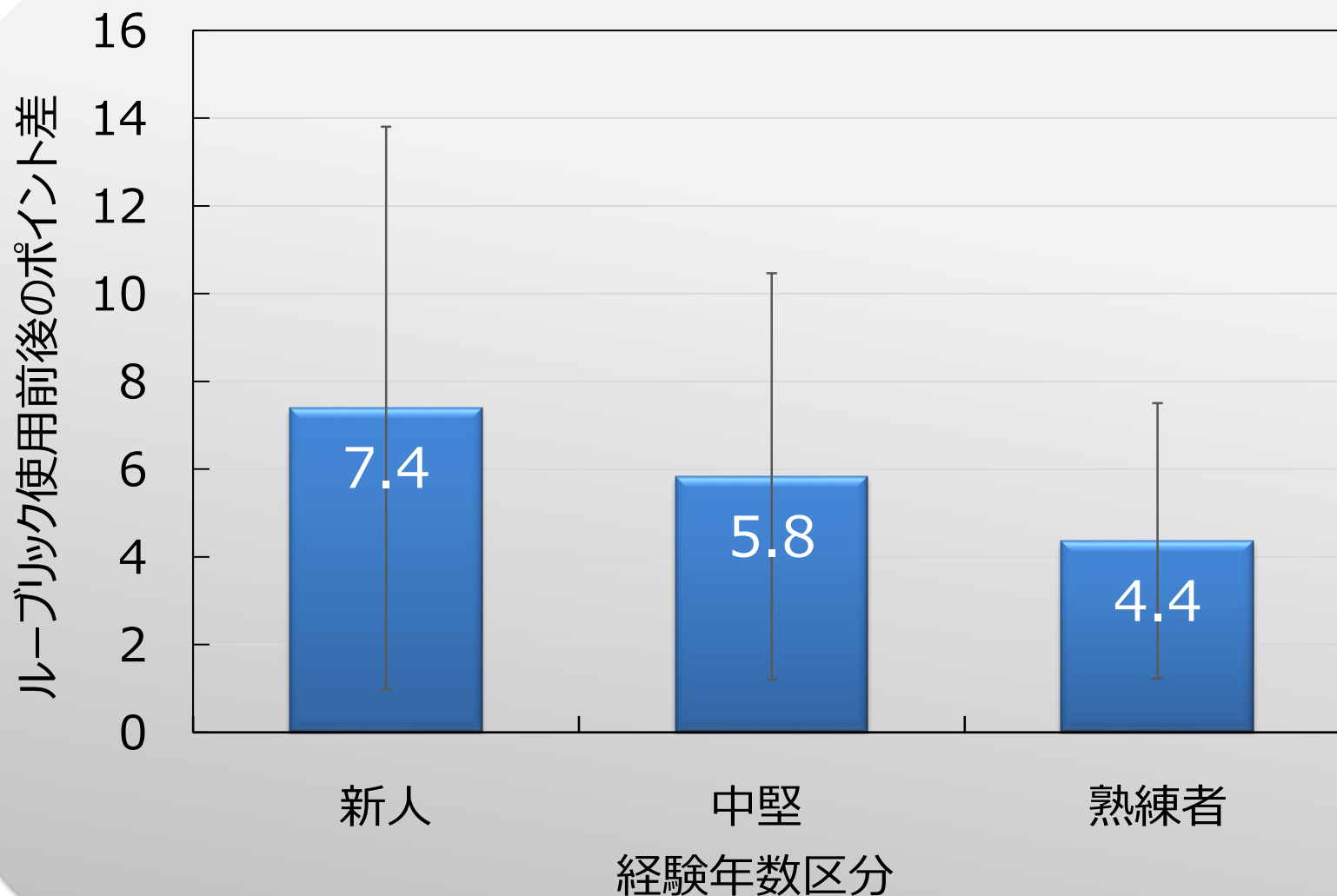
- ・自己評価は過大評価になる傾向があった。



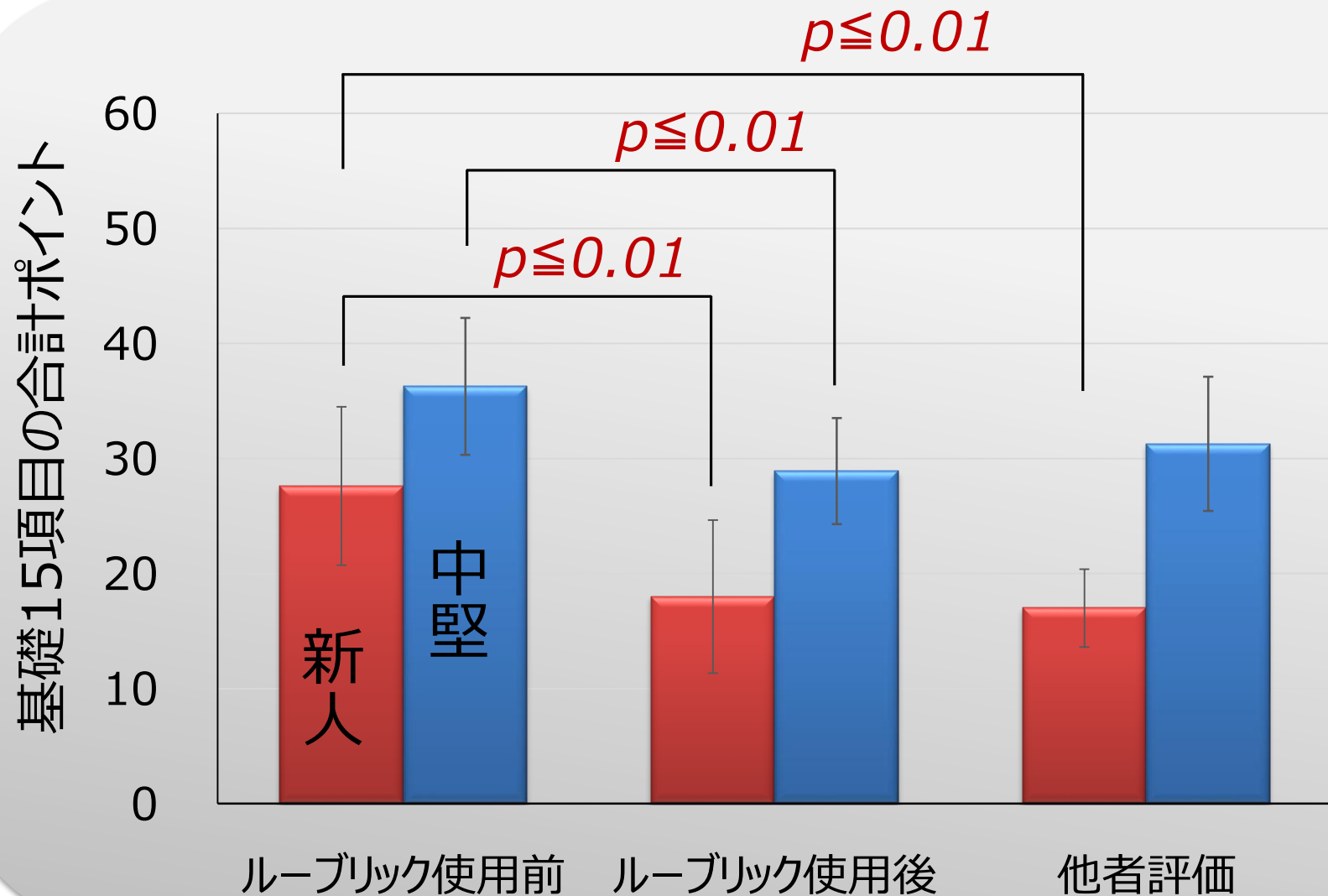
- ・新人、中堅は優位に過大評価になる傾向があった。



- ・経験年数が浅いほどルールブック使用前後でポイント差が拡大した。



- ・ループリック使用で他者評価との差異が縮小した。



考 察

- 自己評価は過大評価となる傾向があった
(特に経験年数の少ない対象者でその傾向が強かった)
⇒ ✓経験年数が少ないほど、評価基準にバラツキが大きい
ことが原因 ⇒ 評価基準の明確化 (ループバック)
- ループバックを使用することで他者評価との差異が小さくなった
⇒ ✓ループバックによって評価基準の統一
- ループバックを使用することでポイントの分散が大きくなった
(経験年数の少ない対象者群でその傾向が強かった。)
⇒ ✓ループバックを使用することで評価基準が明確となり
評価が厳正に行われた
✓非対象者の意見を考慮したループバック作成

まとめ

“知っている”は“できる”を保証しない

第74回総会学術集会 医療安全フォーラム
京都大学医学部附属病院 内藤知佐子先生のご講演資料より引用

放射線業務の質の向上と医療安全に寄与する

“知っている”ことを“できる”に変える

ループバックを用いたパフォーマンス評価

医療安全フォーラム 「インシデント影響度分類の標準化に向けて」

ループリック評価を用いた安全の質管理マニュアル評価事例

ご清聴ありがとうございました。

*Presented by
Butsuryo College of Osaka
Faculty of Health Sciences
Isao Yamaguchi, Ph.D., R.T.*